

# みりよくネット

通信第3号

令和6年8月21日

山形県教育局義務教育課

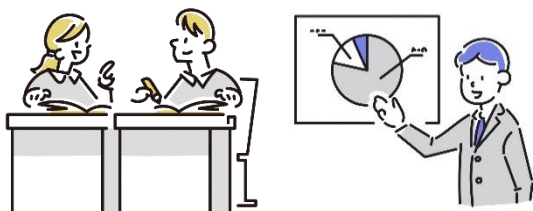
## 令和6年度第2回山形県不登校未然防止連絡協議会

8月8日（木）に第2回山形県不登校未然防止連絡協議会を開催しました。県内の不登校未然防止の取組みを実践する小学校25校と中学校20校が、4月から夏休み前までに各学校で実施した取組みについて報告し、意見交換を行うことを通して、各学校の8月以降の取組みに生かすことを目的に開催しました。

各学校では、「発達支持的生徒指導」や「課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）」を意識した取組みを進めており、未然防止の考え方が浸透していることがわかります。以下に、各学校での取組みを紹介しますので、多くの学校で参考にさせていただき、夏休み明けの取組みにいかしていただければと思います。

## 各学校における未然防止の取組み

- ・生徒指導の実践上の視点「**自己存在感の感受**」「**共感的な人間関係の育成**」「**自己決定の場の提供**」「**安全・安心な風土の醸成**」を**普段の授業**から意識する。
- ・「朝の会」「帰りの会」で「**フリートーク**（今話したいことを1人が話して、それに対して質問や感想を伝え合う）」→これまで**慣例的**に行われていた活動を見直す。
- ・小学校においても、一部、**教科担任制**（学年内で受け持ち教科の組み換え）を実施し、**多くの視点**で子どもを見取れるようにする。
- ・**縦割り（異学年）班**を掃除や児童会などの活動に取り入れることで、**多くの子どもたちの活躍の場**を保障する。また、**教師が**子どもたちの活躍の場であることを**意識し**、見取れるようにする。
- ・**ソーシャルスキルトレーニング**や**エンカウンター（構成的グループエンカウンター）**などの活動を定期的実施し、子どもたちの人間関係づくりのスキルを高める。
- ・「**凡事徹底**」当たり前のことを日々積み重ねること。**全職員で同じ方向**を見て、取組みを進めることが大切である。
- ・**普段から授業を見合える雰囲気づくり**を行う。「授業、見に来て」や「授業、見てもらえますか」というオープンな風土をつくる。



★★★

これまで何気なく行ってきた取組み（手立て）をもう一度その意味や目的を見直し、意図的・計画的に実施することが大切です。

**児童生徒も先生方も笑顔あふれる魅力ある学校を！**